

国語

※答えは解答用紙に記入すること。

H22
PDPN1

番 氏名

〔一〕 次の文章を読んで、後の問に答えよ。

暮になると、テレビ各局は「ワイドショー^(a)」シウゲキ映像決定版九一」とか「九一報道スクープ決定版」とか銘打った番組を競って放映する。こういうことは、年末のテレビの恒例の行事のようなもので別に今回に限られたことではないが、今回だけは、^①単なる恒例の行事として片付けられぬようなところがあって、ついつい、永いあいだテレビの前に坐りこんでいたものだ。

もちろんこれは、昨年（九一年）という年が、激しく揺れ動く一年だったせいだろう。国外では、年明け早々のいわゆる「湾岸戦争」をはじめとして、年末のソ連邦^(b)・ホウカイに到るまで、文字通り歴史を^②画するような大事件が次々と起った。一方、国内でも、たとえば雲仙普賢岳の大噴火のようなショッキングな出来事があった。だが、それだけのことなら、別に九一年に限られたことではない。これまでだって、その規模はちがうにしてもそれなりにショッキングな出来事に事欠かなかった。だが、そのときに驚きを覚えはしても、年が暮れば、すでにすんだこととして、「まったく今年はいろいろなことがあった」といった^(c)カンガイのなかに投げこんでいたのであって、この暮のように、各局の^③似たような趣向の番組の前に飽きもせず坐りこむようなことはなかったのである。

これはひとつには、昨年起った出来事が、規模の点でも意味あいの点でも、近頃類を見ぬものであったせいだろう。それにまた、^④普賢岳が今もなおマグマを作り続け無気味な鳴動を続けているように、中東もロシアも、けっして事件が落ち着いたわけではなく、何が切っかけでどういうことが起るかわからぬ不安をはらんでいるせいでもある。どの事件も、もはやすんだこととして片付けることの出来ぬままなましいリアリティをもって私の前に現前し続けており、そのことが私をあつちぎりに惹きつけたのである。

というわけで私は、テレビの前に坐りこんでいたのだが、眺めているうちに、どうも理由はそればかりではないということに気が付いた。そこにはテレビという媒体そのものの力もかかわっていることに気が付いた。「湾岸戦争」の際のテレビ報道について、戦争そのものの実況放送が行われたのははじめてのことだと言われたことを覚えているが、その同時性と現場性が、私が考えていた以上に、私の意識や感覚の奥深い部分にまで入りこんでいたのである。もちろん、テレビが、さまざまな地域的な紛争の報道を行ったことはこれまでもあった。だが、それらはすべてごく断片的であり、一方的であり、あとから編集されたものだ。今回のように、刻々に迫るタイム・リミットを前にして全世界が息を呑んでいるときに、爆撃される当の都市で、夜空をつらぬきながらロケット弾が刻々に撃ちこまれるさまが、同時に映し出されるというようなことはかつてなかったのである。

もちろん、まったく「A」的に事実そのものを伝えるなどということはありえない。爆撃されつつある都市で、テレビ・カメラのレンズを開けばなしにして、刻々に生ずるものを同時に映し出したところで、その映像が事実そのものであるということにはならぬ。何の^⑤細工もせずに映し出したところで、その視点は、たとえばバグダッド市内の無数の視点のなかのひとつであるに過ぎないのだ。だが、その映像は、その直接性と同時性によって、まさしく事実そのものであるような外観を呈するのであり、そういうものとして、われわれの内部に否応ない力をもって浸透するのである。【a】

私が、暮のテレビ番組にあのように強く惹きつけられたのも、年のはじめから、この種の映像を、休むひまもなく次々と見せられ続けたためだろう。もちろん、そのときどきにおいては、私なりにそれらの映像を批評し、判断、構成し、かくして私の思考のなかに組入れたつもりでいたのだが、この映像は、そのような私の抵抗をかくぐって、腐蝕性の細菌のように私のなかに入りこみ、私

の内部に、「事実」という一種の癌を育むこととなったようだ。この癌は、私からあの映像に対する抵抗力を奪い去るように作用するのであり、私は、現象に対する十分な距離がとれなくなる。

多少おもむきは異なるにしても、これはソ連についてのテレビ報道に関しても言いうることだ。それは、「湾岸戦争」の場合ほど直接的なものでも同時的なものでもなかったが、これまでソ連の内情がわれわれには閉じられていただけに、クーデター後のモスクワでの人びとの動きをとらえた映像ひとつをとってみても、バグダッドでの爆撃の映像と同じように、観る者に、その同時性と直接性とを強く印象付ける。テレビの映像を観ながら、われわれは、自分が、現にその事件に立合っているような感覚を味わうのである。夜空に、ロケット弾や高射砲弾が花火のように飛びかっていたように、モスクワの路上では、老人が戦車の下に身を横たえ、老婆が怒りの手を振りあげている。そういう映像を見て、われわれは、それが現に起っている「事実」であると思ひ、自分がそういう「事実」を見ているのだと思う。だが、^⑥われわれは、果して、真に「事実」を見ていると言えるであろうか。

あのロケット弾を見あげていたバグダッドの市民は、「事実」を見ていたと言えるだろう。彼らの視点は、テレビ・カメラよりもはるかに限られたせまいものであったろうが、そこには、恐怖があり絶望があり怒りがあり諦めがあり、それらいつさいを引くくめた彼らにとつての生活というものがあつた。その生活が、飛来するロケット弾を前にして奥深いところから鋭く緊張した。そしてまさしくそれゆえに、虚空に光るものが、彼らにとつての「事実」と化したのである。モスクワ市民の場合も同様だろう。あの老人や老婆にも、長年のあいだに幾重にも積り重なってきた生活があり、それが、轟音を立てて走ってくるクーデター側の戦車を前にしてひとつに集中した。だからこそ、その戦車の姿が彼らにとつての「事実」と化することが出来たのだ。これは、バグダッド市民や、反クーデター側の市民についてのみ言いうることではない。攻撃側の兵士や、クーデター側の兵士についても言いうることだ。【b】

だが、テレビの映像が伝える「事実」を眺めるわれわれには、そういう生活がいつさい欠落している。もちろん、そういう映像を観て、よろこんだり、悲しんだり、腹を立てたりすることはあるだろうが、ロケット弾はわれわれに襲いかかってくるわけではない。戦車は近くの路上を走りまわっているわけではない。映像に対して、さまざまに反応はしても、われわれの生活全体が、その映像に向かつて緊張することはない。映像によって辛い思いはしても、すぐそのあとでお笑い番組に^⑦興ずることに何の差支えもないのである。われわれは、こたつでテレビを観ながらせんべいでも喰うように、^(d)シカ^ンした生活のなかで「事実」をむさぼり喰っていけばよいのである。

「湾岸戦争」やソ連情勢のテレビ報道が、私にこういうことをあらわにしてくれたわけだが、これはまさしく^⑧テレビという媒体そのものの特質であると言つていいだろう。そういう重大な事件ではなくても、われわれは、重症の過食症患者かなんぞのように、テレビを通して、日々、膨大な量の「事実」を飽くことなくむさぼり喰っている。誰も、自分を振りかえってみれば、おのれのように、無数の「事実」が、消化されることもなくあふれていることに気付くはずである。健康な胃は、入りこんでくる「事実」を、その秩序ある働きを通して、「B」胃そのものの生活を通して判別し、異物を吐き出し、好ましいものを消化してわれわれの血肉と化するのだが、今やわれわれには、そういう判別力が刻々に失われつつあるようだ。拒否する力も受け入れる力も、急速に失われつつあるようだ。喰っても喰っても空腹感に悩む人間のように、われわれは、抹消的な「事実」で絶えず心をいっばいしておかなければ不安になるような状態に立到っているようだ。【c】

というわけで、テレビは、われわれに、絶えず「事実」を与え続けることによつて、われわれから生活感とも現実感とも言うべきものを奪い去っている。暮のテレビ番組を観ながら、時として私は、すべてが「事実」でありながら同時にすべてが幻想であり絵空事であるような奇妙な感覚を味わつたが、この感覚は、私に、テレビがわれわれを導く、空虚で不安な空間をかいま見せてくれたようだ。そこでは人びとは、絶えず「事実」をむさぼり喰いながら、いささかの現実感も持たぬ。おのれや他人の生や死も、確かに「事実」であり^⑨ながら何やら絵空事めいている。「事実」と幻想との区別を、しっかりとした手触りをもつて感じとることが出来ないのである。【d】

このような事態が進めば、人びとは、現に自分が他人を殺していないながら、そのことと、テレビの画面のなかの出来事とを区別しえなくなるのではなからうか。それどころか、自分自身を殺しても、絵空事めいた感覚しか味わえなくなるのではなからうか。近頃の子供たちは、ごく^⑩簡単に人を殺し、ごく簡単に自殺する。もちろん、切羽つまつた事情がある場合もあるだろうが、そういう事情

だけでは説明のつかぬ気配が感じられる。殺人にせよ、自殺にせよ、生活感や現実感の消え去った、あの空虚で不安な空間のなかの出来事であるような気がしてくるのである。【e】

先年人びとを愕かせた連続少女殺人事件の犯人は、ビデオのマニアであったということだ。人びとはこのことをめぐってビデオの悪影響を云々し、彼には映像と現実との区別がつかなくなったのだと評していた。それは確かにその通りだろうが、そういう意見をテレビで①したりげに述べている評者自身、テレビが(e)マンエンさせている「事実」病と無縁ではないのである。

(栗津則雄『世紀末文化私観』より)

問1 傍線部(a)のカタカナの漢字と同じものが使われている文章を次の1〜5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- (a) ショウゲキ
- 1 ソンショウの激しい車。
 - 2 資料をサンショウのこと。
 - 3 船がアンショウに乗り上げる。
 - 4 他者とのセツショウに臨む。
 - 5 会議にシショウをきたす。

問2 傍線部(b)のカタカナの漢字と同じものが使われている文章を次の1〜5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- (b) ホウカイ
- 1 川のケツカイを防がねばならない。
 - 2 キンカイを探す旅に出る。
 - 3 カイダン話で盛り上がる。
 - 4 婚約者をショウカイする。
 - 5 カイギ的な視線で見る。

問3 傍線部(c)のカタカナの漢字と同じものが使われている文章を次の1〜5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- (c) カンガイ
- 1 事件のガイヨウを伝える。
 - 2 テンガイ孤独の身である。
 - 3 政治に対しフンガイしている。
 - 4 ガイトウする物件に出会う。
 - 5 ダンガイ裁判が行われる。

問4 傍線部(d)のカタカナの漢字と同じものが使われている文章を次の1〜5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- (d) シカン
- 1 めでたくカンレキを迎える。
 - 2 バスが地域をジュンカンする。
 - 3 キュウカンであふれる病院。
 - 4 カンキュウ自在のペースで進む。
 - 5 もうカンニンできない。

問5 傍線部(e)のカタカナの漢字と同じものが使われている文章を次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

(e) マンエン

- | | |
|---|----------------|
| 1 | エンセキの準備をする。 |
| 2 | アイエン家には困った制度だ。 |
| 3 | 雨で運動会はジュンエンだ。 |
| 4 | エンドウを観客が埋め尽くす。 |
| 5 | エンコで就職を決める。 |

問6 傍線部①の品詞として正しいものはどれか。次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|-----|---|------|---|-----|
| 1 | 副詞 | 2 | 接続詞 | 3 | 形容詞 | 4 | 形容動詞 | 5 | 連体詞 |
|---|----|---|-----|---|-----|---|------|---|-----|

問7 傍線部②にある漢字と同じ意味で使われている熟語を次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 画工 | 2 | 画一 | 3 | 画面 | 4 | 字画 | 5 | 画趣 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

問8 傍線部③の活用として正しいものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|---|--------|---|---------|---|---------|
| 1 | ナ行五段活用 | 2 | ナ行上一段活用 | 3 | ナ行下一段活用 |
| 4 | ラ行五段活用 | 5 | ラ行上一段活用 | | |

問9 傍線部④で使われている表現技法として正しいものはどれか。次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|----|---|----|---|-----|---|-----|
| 1 | 擬人法 | 2 | 直喩 | 3 | 隠喩 | 4 | 擬態語 | 5 | 反復法 |
|---|-----|---|----|---|----|---|-----|---|-----|

問10 「A」にあてはまる言葉として最適なものはどれか。次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 相對 | 2 | 客觀 | 3 | 恣意 | 4 | 集中 | 5 | 流動 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

問11 傍線部⑤の熟語の構造と同じものはどれか。次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| 1 | 非才 | 2 | 玉石 | 3 | 決心 | 4 | 定価 | 5 | 墮落 |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|

問12 傍線部⑥に関して、そのような疑問を抱く理由は何か。最適なものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 われわれには、バグダットの市民が抱いていた様々な感情がなく、そこに生活というものがないから。
- 2 われわれは、バグダットの映像を見ても、喜怒哀楽を示すことがなく、ロケット弾への恐怖も感じないから。
- 3 われわれが見ているのは、バグダット市内の無数の視点の一つであり、全体を俯瞰して見ているわけではないから。
- 4 そのテレビ報道は、それまでにない同時性と現場性を備えており、われわれが経験していないものだったから。
- 5 バグダットの市民たちには現場の緊張があつたが、テレビを見ているだけのわれわれにはそれがなく、自分の生活には何の変化もないと思いきこんでいるから。

問13 傍線部⑦の部首として正しいものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-------|---|-------|---|----|---|-----|
| 1 | うす | 2 | くにがまえ | 3 | ひとがしら | 4 | くち | 5 | にすい |
|---|----|---|-------|---|-------|---|----|---|-----|

問14 傍線部⑧が指し示しているのはどういふことか。最適なものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 われわれに不安な「事実」を多く送りこんでくるといふこと。
- 2 われわれから生活における判断力を奪ってしまうといふこと。
- 3 「事実」と幻想の区別がつかず、重大な事件を引き起こす原因を作ってしまうといふこと。
- 4 われわれから生活感や現実感を奪ってしまうといふこと。
- 5 われわれに「事実」を送り続けることによつて、現実に対する感覚を消滅させるといふこと。

問15 「B」にあてはまる言葉として最適なものはどれか。次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 だが
- 2 もちろん
- 3 だから
- 4 あるいは
- 5 つまり

問16 傍線部⑨と同じ意味で使われているものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 リンゴを皮ながら食べる。
- 2 悪口を言われながら、平然としている。
- 3 さながら海のような青さだ。
- 4 テレビを見ながら勉強をする。
- 5 立ちながらおにぎりをほおぼる。

問17 傍線部⑩の反対語として正しいものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 混乱
- 2 至難
- 3 容易
- 4 複雑
- 5 錯綜

問18 傍線部⑪の意味として最適なものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 事細かく
- 2 得意そうに
- 3 偉そうに
- 4 わかったように
- 5 何度もしつこく

問19 次の一文が入る箇所は本文のどこが最適か、後の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

そこにも、彼らそれぞれの生活というものがあるからである。

- 1 [a]
- 2 [b]
- 3 [c]
- 4 [d]
- 5 [e]

問20 本文の内容を説明したものととして最適なものを次の1～5から選んで、その番号を解答欄にマークせよ。

- 1 テレビを見ているわれわれと、現場にいる人々との一番の違いは、そこに喜びや哀しみなどのリアルな感情があるか否かであり、テレビを見ているわれわれには現場に対して何らかの感情を持つことは不可能である。
- 2 ソ連についてのテレビ報道も、バグダットのそれと同様に同時性を持つものであり、われわれにその現場を直に見ているような錯覚を起こさせ、現場との距離感を麻痺させることとなった。
- 3 バグダットにおける爆撃映像は同時性を持つものであるが、あくまでも無数の視点のうちの一つに過ぎない。それでも事実であるとの錯覚を生み、視聴者のほとんどがその映像のみが事実と信じさせられている。
- 4 筆者がテレビの前に座りこんでいたのは九一年が様々な事件の起こった年で、それらの事件の映像に目を奪われ、さらに「湾岸戦争」などの地域紛争の報道を初めて目の当たりにしたからであった。
- 5 われわれはテレビの影響によつて、現実と非現実との区別のつかないことになっており、そのことは殺人や自殺の増加など、命を軽んじる行動につながりやすくなるので、これからはテレビを遠ざけることが必要である。

〔二〕 次のそれぞれの四字熟語の□にあてはまる語はどれか。後の1～5から選び、それぞれの問の解答欄にマークせよ。

問21 唯我独□

- 1 観
- 2 尊
- 3 杯
- 4 心
- 5 住

問22 不□身命

- 1 快
- 2 昔
- 3 惜
- 4 烈
- 5 勞

問23 □章狼狽

- 1 楽
- 2 終
- 3 周
- 4 近
- 5 再

問24 志□堅固

- 1 操
- 2 向
- 3 及
- 4 実
- 5 杏

問25 汗牛充□

- 1 交
- 2 版
- 3 専
- 4 染
- 5 棟